

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	技術交流促進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	工業課		包含する細々目	1	7	1	5	10	11	3,600	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	10	年度～	年度	関連計画条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯伊地域の企業	展示会開催情報案内対象社数(電子・精密・光学等)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			160	170		
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
展示会へ出展し営業してもらう	展示会参加社数(延数)	18目標	70	最終目標		
		18実績	53	19目標	100	↑
		23目標	120	23実績		最終目標達成年度
	見積もり依頼、受注、共同開発件数	18目標	100	最終目標		
		18実績	120	19目標	100	↑
		23目標	120	23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	展示会への出展支援、企業ガイドブックの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・全国規模で開催される工業展示会への共同出展による新規取引先拡大及び共同開発等の促進 ・関東や名古屋を中心とする中京圏などの優良企業との商談会への参加 ・産業技術大学を通じた企業間交流会(協賛事業) ・企業ガイドブックの作成 ・展示会参加企業の増加のための推進 ・効果的な展示会の選択と参加 ・優良企業への企業視察 	展示会等への参加延企業数	参加延企業数53社 企業視察22企業
	18年度の実績			
	19年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全国規模で開催される工業展示会への共同出展による新規取引先拡大及び共同開発等の促進 ・関東や名古屋を中心とする中京圏などの優良企業との商談会への参加 ・産業技術大学を通じた企業間交流会(協賛事業) ・企業ガイドブックの作成 ・展示会参加企業の増加のための推進 ・効果的な展示会の選択と参加 ・企業グループによるユニット製品の展示参加 	展示会等への参加延企業数	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	3,800	3,600
	事業費計(A)	3,800	3,600
人件費	正規職員所要時間	18年度 400	19年度 350
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,430	1,252
	トータルコストA+B	5,230	4,852

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	地域経済自立度(%)	現状値	45.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
	製造品等出荷額(億円)		現状値	3700	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	4070	

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会への出展事業は昭和59年に始まった長野県テクノフェアをはじめ、浜松など関係の深い都市との交流も含めて実施してきた。 ・平成8年に策定した「飯田市工業振興マスタープラン」等を契機として展示会への共同出展を本格化させた。 ・共同出展の形態をとることで展示会出展が困難な企業の参加を促進してきた。 	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コストダウン要請の激化、短納期化等の影響を受けて加工技術があるというだけでは仕事がとれない。 ・また、地域内の企業が持つ要素技術と発注案件のミスマッチが発生しており、事業活動を向上させるための市場情報の的確な把握と対応の必要性が高まっている。 	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注機会及び有用情報の多い展示会への重点的な援助実施について要請がある。
---	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由) 展示会に出展し、取引先の拡大や業界の動向を知ることにより、経営の安定及び成長又は技術力や開発力の強化に結びつく。</p>	有効性 評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由) 展示会参加企業の一部に固定化が見られる。新たな企業の参加を促すと共に、参加企業自身による自立的販路開拓事業の展開を促進する必要がある。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がある (その理由) 電気、精密、光学関連に絞って展示会出展支援を行ってきたが、経済自立化のためにも、他の分野の展示会出展支援も検討していく必要がある。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由) 新規取引先の確保や業界の最新の動向を得る機会が減少し、当地域の中小企業の厳しい現況がますます悪化する。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 地域内の製造業は、コストダウンや加工精度、短納期などの厳しい要請にさらされており、意図の重要性は更に高まりつつある。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 統合可能 (類似事業名、理由) 商工会議所や地場産業振興センターに「展示会出展補助制度」があるが、窓口を一本化することにより企業にとってもわかりやすくなる。(検討を継続する。)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由) 中小企業の受注環境は、依然として厳しい状況にあり、展示商談会を通じた販路開拓の重要性は高い。有益な展示会は、比較的出展料が高額になっている傾向があり、それに対する行政の支援は、有効性が高い。</p>		<p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由) 有益な展示会へ共同出展によるコストダウンを図るなど工夫をしているが、そもそも出展費用が高額なため限界がある。</p>
			公平性 評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由) 参加企業に出展費用の負担を求めており、妥当である。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p>実施年度 具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有益な展示会を絞り込み共同出展によるコストダウンを図る。 ・参加企業に固定化が見られるため、さらに多くの企業に参加を促す。 ・展示会出展による新規取引先及び共同開発等の拡大。 ・他社の取り組みや業界の動向を知ることによる保有技術の高度化や開発力強化への取り組みの誘発。 <p>平成18年度から県中小企業振興公社による補助が補助制度改正により、受けられない可能性があり、出展企業への負担が更に大きくなる。</p> <p>・有効性の高い展示会への重点的な参加を進め、共同出展により小間料、装飾代負担の軽減を進める。</p>
---	--

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	